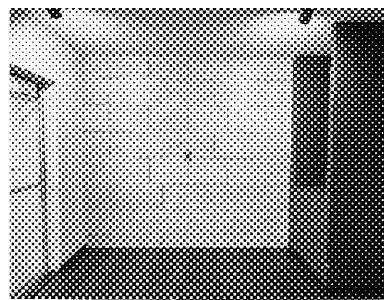


広島産カキ殻で 内装ボード資材

ノザワ

【神戸】ノザワは広島産のカキ殻を使った内装ボード資材「シェリンオイスター」を発売した(写真)。コンクリート打ち放し風のボードに、カキ殻をアクセントとしてちり



ばめた。海洋資源の有効活用を訴求し、オフィスや店舗、商業施設などで採用を見込む。初年度で1万平方メートルの販売を目指す。

ボード1平方メートル当たり0・5平方メートルの細かく砕いたカキ殻を含む。海水に約3カ月浸すことでカキの身や海藻などの有機物を取り除き、内装資材として使えるようにした。参考材料価格は、1平方メートル当たり約4000円から。カキ殻の密度が異なる、「ここがら」「おおがら」の計2種を用意した。